

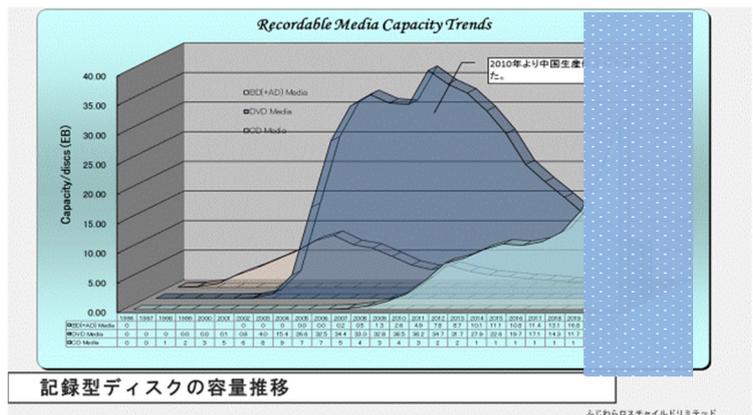


株式会社ふじわらロスチャイルドリミテッドは、この度、「光ディスクストレージの動向と展望 2016」を2016年12月13日に発刊致しました。

「光ディスクストレージの動向と展望 2016」は、市場編として、光ディスクドライブ、AV、メディアの詳細動向と予測。技術編として、大容量ディスク技術開発動向と Archive、Cold Storage の動向を載せ、この1冊で光ディスクストレージの新たな市場動向と展望が把握出来るように編纂しました。2016年版では、民生用市場が縮小を続ける中、Cold Storage 市場が動きだし、またBD-ROM メディア系が好調であるなど、新たな光明が見られる状況を分析しています。

- ・ 民生用光ディスクが急減する一方で、エンタープライズ市場拡大
- ・ 容量供給量が急拡大する兆しの大容量アーカイバルディスク

今後の5年間で、アーカイバルディスクによる記録容量供給が加速する。この容量の殆どは、Data Center 向け(Cold Storage 用途)が占める。民生用のBDの数倍の容量を有する大容量ディスクの貢献度が非常に高くなる。

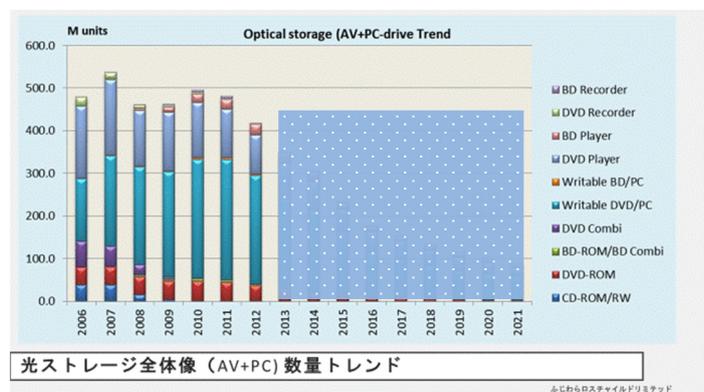


記録型ディスクの容量推移

ふじわらロスチャイルドリミテッド

CD、DVD、BD フォーマットを利用する全ての AV 機器、PC 用ドライブの数量動向を本書では示している。その総合計は2010年をピークに急減傾向にある。

BD 系機器がそれを補うだけの需要を創出できていない。2014年以降も、数量的にはDVD-Writable Drive が主たる光ディスクストレージとなる。



光ストレージ全体像 (AV+PC) 数量トレンド

ふじわらロスチャイルドリミテッド

光ディスクストレージの動向と展望 2016

寡占化が進む PC 向け光ディスクドライブは Ultra Slim の DVD-W に収束方向。BD 光ディスクの大容量化が日本企業の正念場。

光ディスクドライブの生産会社は、トータル需要の急減下で淘汰され、寡占化が進む。DVD-Writable Drive、BD 系ドライブの Ultra Slim 型に収束。

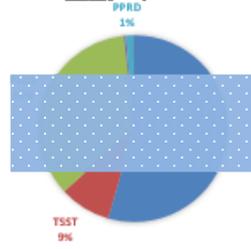
BD ディスクの生産は、SL、DL まで台湾勢が台頭してきている。BD-XL 以上は日本メーカーの独壇場であるが、市場拡大を担うのはアーカイバルディスク。成長はこれから。

PC用ドライブのメーカー別生産量と生産シェア

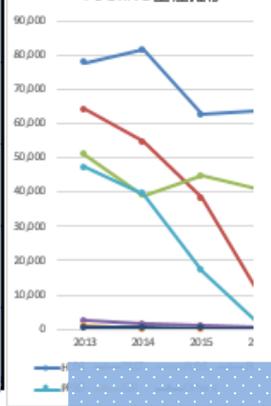
	年種別	年種別			
		2013	2014	2015	2016
HLDS	H/H drive	6,714			
	Slim drive	3,806			
	Ultra slim	8,366			
	Sum	7,884			
TSST	H/H drive	6,606			
	Slim drive	2,066			
	Ultra slim	6,646			
	Sum	4,206			
PLDS	H/H drive	2,620			
	Slim drive	0,661			
	Ultra slim	7,849			
	Sum	1,120			
PODM	H/H drive	1,626			
	Slim drive	379			
	Ultra slim	364			
	Sum	2,369			
PPRD (PSM)	H/H drive	6,180			
	Slim drive	9,782			
	Ultra slim	1,380			
	Sum	7,342			
QSI	H/H drive				
	Slim drive	980			
	Ultra slim				
	Sum	980			
Others	H/H drive				
	Slim drive	622			
	Ultra slim				
	Sum	622			
Total	H/H drive	1,644			
	Slim drive	8,174			
	Ultra slim	4,603			
	Sum	24,422			

(単位:万台) (Source: A drive)

生産シェア 2016

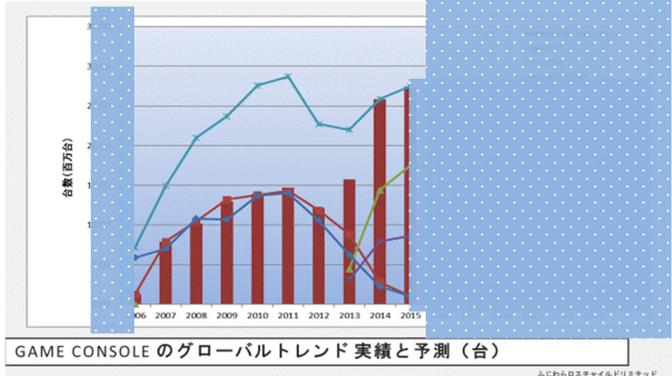


PC DRIVE 生産推移



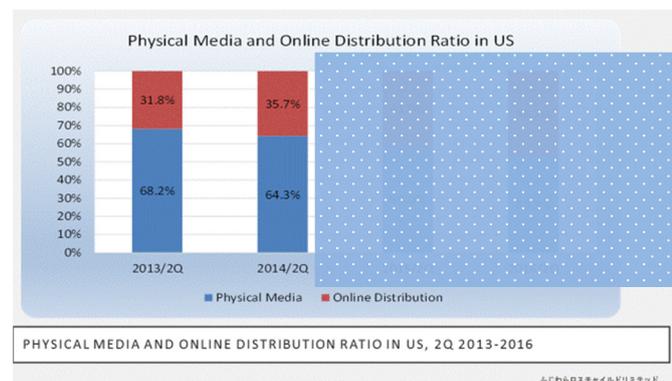
BD ディスクを使うゲームコンソールの台数が復活傾向。UHD にも対応。BD-ROM は当面安定。

PS3 に代わる PS4、XBOX360 に代わる XBOX ONE が順調な世代交代。特に PS4 が快調。BD-Video を加えた BD-ROM 系ディスクのトータル供給量は、今後数年間は安定～漸減の傾向である。



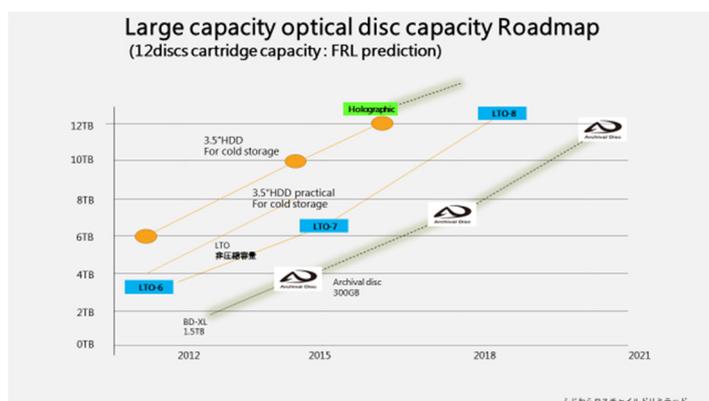
ストリーミングやダウンロードへの移行は、このところ加速し始めている。しかし物理メディアは粘り強い。

市場全体では前年同期比で 2013/2Q のみ -0.3% とマイナス成長であったが、それ以降はこの 4 年の市場規模は堅調に推移している。オンラインによる配信市場規模は二桁の成長を示しているのに対し、物理メディアの市場規模はマイナス成長が続いている。



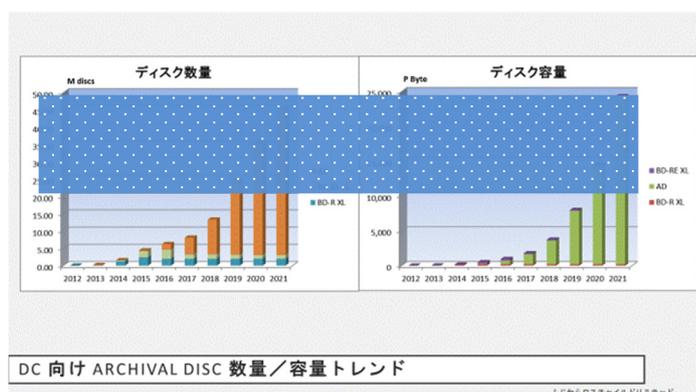
ISOM2016 では、日立製作所が Holographic Data Storage に関連の進展に関して報告。JST、東京理科大の HDS 全てを概説する。

今後の大容量化技術開発により、カートリッジ容量(12 枚)では、LTO の容量ロードマップとコンペティティブとなる。Holographic Recording では HDD とコンペティティブとなる。



光ディスクストレージは、Off-line Archive のみならず、Near-line Archive に於いて存在感を増す

光ディスクは、今後 Archive 用途での拡大が期待されるが、Off-line Archive と Near-line Archive では全く異なるビジネスモデルが展開される。



300GB の納入も始まり、いよいよ新時代へ。

マルチクライアント市場調査レポート 「光ディスクストレージの動向と展望 2016」

2016 年 12 月 13 日発行

90 ページ

定価: 40 万円(ハードコピーのみ)

45 万円(ハードコピー及び電子ファイル)

お問い合わせ先
株式会社ふじわらロスタチャイルドリミテッド
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-11-3 第八東誠ビル 4F
電話:03-5821-3993 FAX :03-5821-4030
電子メール: info@fujiroth.com
Website: <http://www.fujiroth.com/>